

## 平成21年10月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年3月6日

上場会社名 株式会社くらコーポレーション  
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 南垣内 啓太  
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月16日

上場取引所 東

TEL 072-368-9401

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第1四半期の業績(平成20年11月1日～平成21年1月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第1四半期	14,878	—	676	—	723	—	330	—
20年10月期第1四半期	13,627	18.2	582	△2.2	645	0.4	359	11.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第1四半期	3,193.29	—
20年10月期第1四半期	3,472.60	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第1四半期	18,107	12,002	66.3	115,971.35		
20年10月期	18,462	11,755	63.7	113,578.06		

(参考) 自己資本 21年10月期第1四半期 12,002百万円 20年10月期 11,755百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	—	—	800.00	800.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年10月期の業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	30,351	10.6	1,061	△28.9	1,186	△26.1	568	△36.0	5,490.45
通期	62,700	11.0	2,820	15.4	3,070	19.2	1,470	156.9	14,203.04

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第1四半期 103,499株 20年10月期 103,499株  
 ② 期末自己株式数 21年10月期第1四半期 一株 20年10月期 一株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年10月期第1四半期 103,499株 20年10月期第1四半期 103,499株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想に関する事項については、3ページをご参照下さい。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国発の世界的な金融危機と実体経済の悪化を受け、輸出頼みの国内景気は急速に落ち込んできました。円高により輸出関連の企業業績は大幅減益が続出し、大規模な人員削減計画が相次いでおり、雇用不安は深刻な社会問題になってきております。

外食産業においては、雇用、医療、年金といった将来不安を抱える消費者の生活防衛意識の高まりにより、外食を手控える傾向が一段と鮮明になってきており、非常に厳しい状況を余儀なくされております。

このように取り巻く環境が厳しさを増す中、当社は、安全・安心、安価で美味しいものを求める顧客の消費動向は、当社の掲げる経営理念“食の戦前回帰”にマッチするものであり、むしろ追い風であるとの認識で、顧客来店の動機付けを図る様々な取組みを行ってまいりました。例えば、初の試みとして平成20年の年末には、素材を厳選し、無添加にこだわった、安全で美味しい「おせち」をご提供し、大変好評をいただきました。さらに、携帯電話で会員登録いただいているお客様へ「1皿88円(税込92円)」にてご提供するキャンペーンを実施いたしました。

また、店舗開発につきましては、福井県と島根県に初進出を果たし、西日本地区で6店舗、東日本地区で5店舗の計11店舗を新規出店、一方、東日本地区で2店舗を閉鎖いたしましたため、当第1四半期末の店舗数は、全て直営で232店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高148億78百万円、営業利益6億76百万円、経常利益7億23百万円、四半期純利益は3億30百万円となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産総額は181億7百万円となり、前事業年度末に比べ3億54百万円の減少となりました。これは、主に新規出店や改装等により積極的に設備投資を行った結果、固定資産が2億75百万円増加したものの、その資金を一部自己資金から賄ったことにより、現金及び預金が5億66百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、61億5百万円となり、前事業年度末に比べ6億2百万円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が3億85百万円減少したことや、買掛金が1億60百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により120億2百万円となりました。

#### (2) キャッシュフローの状況

当第1四半期におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが4億39百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが8億72百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが1億33百万円の支出となり、この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より5億66百万円減少し27百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動の結果得られた資金は4億39百万円となりました。これは、主に税引前四半期純利益が5億99百万円となり、減価償却費が2億79百万円、店舗閉鎖損失が1億21百万円があった一方で、仕入債務の減少額が1億60百万円、法人税等の支払額が4億88百万円等があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動の結果使用した資金は8億72百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が6億2百万円、貸付による支出(建設協力金の支出)が1億81百万円となったことに加え、保証金の差入による支出が54百万円等があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動の結果使用した資金は1億33百万円となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が75百万円、配当金の支払68百万円等があったことによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年12月15日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

#### ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,373	593,618
原材料及び貯蔵品	227,764	243,198
その他	779,096	827,907
流動資産合計	1,034,234	1,664,724
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,124,296	6,657,160
その他(純額)	3,078,407	3,388,467
有形固定資産合計	10,202,704	10,045,628
無形固定資産	110,131	108,570
投資その他の資産		
長期貸付金	2,737,667	2,629,727
差入保証金	2,862,118	2,819,415
その他	1,161,081	1,194,742
投資その他の資産合計	6,760,868	6,643,885
固定資産合計	17,073,704	16,798,084
資産合計	18,107,938	18,462,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,318,578	2,479,274
短期借入金	10,818	—
1年内返済予定の長期借入金	306,250	281,250
未払金	1,842,850	1,835,009
未払法人税等	205,094	590,226
引当金	110,666	110,666
その他	343,716	379,306
流動負債合計	5,137,976	5,675,733
固定負債		
長期借入金	750,000	850,000
その他	217,043	181,859
固定負債合計	967,043	1,031,859
負債合計	6,105,020	6,707,593

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	7,663,204	7,415,501
株主資本合計	12,002,918	11,755,215
純資産合計	12,002,918	11,755,215
負債純資産合計	18,107,938	18,462,809

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
売上高	14,878,945
売上原価	7,305,648
売上総利益	7,573,296
販売費及び一般管理費	6,896,693
営業利益	676,603
営業外収益	
受取利息	12,833
受取手数料	17,954
物販収入	26,859
雑収入	20,267
営業外収益合計	77,914
営業外費用	
支払利息	5,336
為替差損	10,582
物販原価	12,093
雑損失	3,165
営業外費用合計	31,178
経常利益	723,339
特別損失	
固定資産除却損	2,482
店舗閉鎖損失	121,708
特別損失合計	124,191
税引前四半期純利益	599,148
法人税、住民税及び事業税	179,000
法人税等調整額	89,646
法人税等合計	268,646
四半期純利益	330,501

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	599,148
減価償却費	279,803
受取利息	△12,833
支払利息	5,336
固定資産除却損	2,482
店舗閉鎖損失	121,708
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,434
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,695
未払消費税等の増減額(△は減少)	102,550
その他	△20,103
小計	932,832
利息の支払額	△4,176
法人税等の支払額	△488,931
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>439,723</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△602,587
無形固定資産の取得による支出	△8,730
貸付けによる支出	△181,788
差入保証金の差入による支出	△54,366
差入保証金の回収による収入	4,308
その他の支出	△29,675
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△872,840</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	10,818
長期借入金の返済による支出	△75,000
配当金の支払額	△68,861
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△133,043</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△566,244
現金及び現金同等物の期首残高	593,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,373

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	13,627,447
II 売上原価	6,860,168
売上総利益	6,767,278
III 販売費及び一般管理費	6,184,302
営業利益	582,976
IV 営業外収益	68,055
V 営業外費用	5,505
経常利益	645,526
VI 特別利益	—
VII 特別損失	3,715
税引前四半期純利益	641,811
税金費用	282,397
四半期純利益	359,414

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	641,811
減価償却費	252,898
受取利息	△10,402
支払利息	2,448
固定資産除却損	3,184
たな卸資産の増減額	△60,438
その他流動資産の増減額	△56,629
店舗釣銭用保証金の増加額	△8,159
仕入債務の増加額	129,919
未払消費税等の増加額	△17,649
その他流動負債の増加額	69,550
一括購入資産の減少額	840
その他	△4,869
小計	942,504
利息の支払額	△1,571
法人税等の支払額	△579,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,261
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△466,479
無形固定資産の取得による支出	△805
貸付による支出	△211,882
保証金の差入による支出	△104,197
保証金の回収による収入	1,348
その他の投資等の取得による支出	△47,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	△829,109

	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△51,250
配当金の支払額	△70,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,871
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,448
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額	△592,168
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	2,005,220
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	1,413,052